

6-14 地殻活動総合観測線による観測結果（暫定値） （1990年1月1日～1990年11月15日）

Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki and
Hokuriku Districts (Tentative Values)

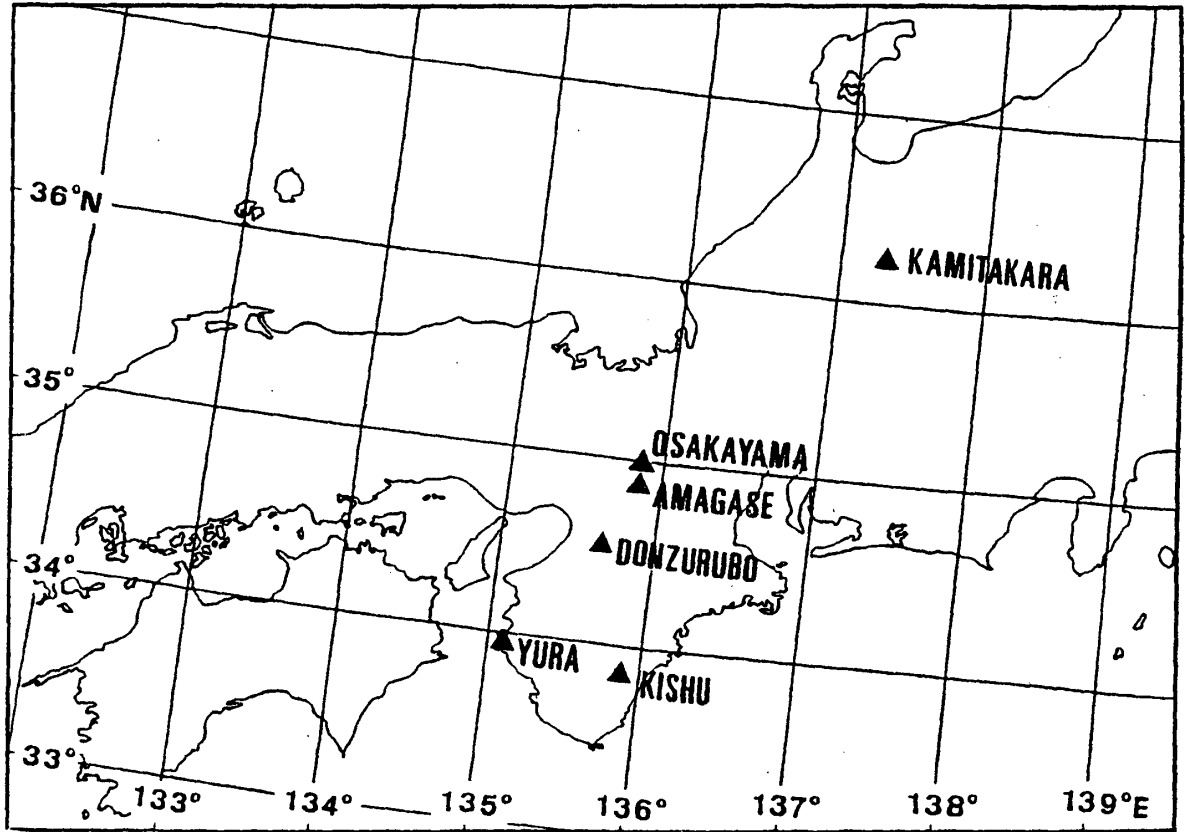
京都大学 防災研究所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

北陸近畿および近畿山陰両観測線のうちから、今回は第1図に示す6観測点における1990年1月1日から11月15日までの期間について主な観測成分の結果を報告する。第4図の天ヶ瀬E-2成分に見られる3月以降の大きい変化の原因は器械的なものと考えられる。第3図の屯鶴峯のE4.5S成分に見られる8月のひずみの傾向の急激な変化の原因は現在のところ不明である。第5図の由良におけるN9W成分の10月初旬のステップ状のひずみ変化は、降雨に起因するものである。これら以外については、全般に年周的な変化および降雨・地下水の影響によって生じたひずみ・傾斜変化であると解釈でき、特筆すべき異常現象は見られない。

第7図には由良および紀州における1983年4月以降の観測結果を示す。ひずみ・傾斜ともに1988・89年以来変化の傾向が変わっているが、これについては欠測もあり、結論を下すにはさらに詳細な検討を要する。

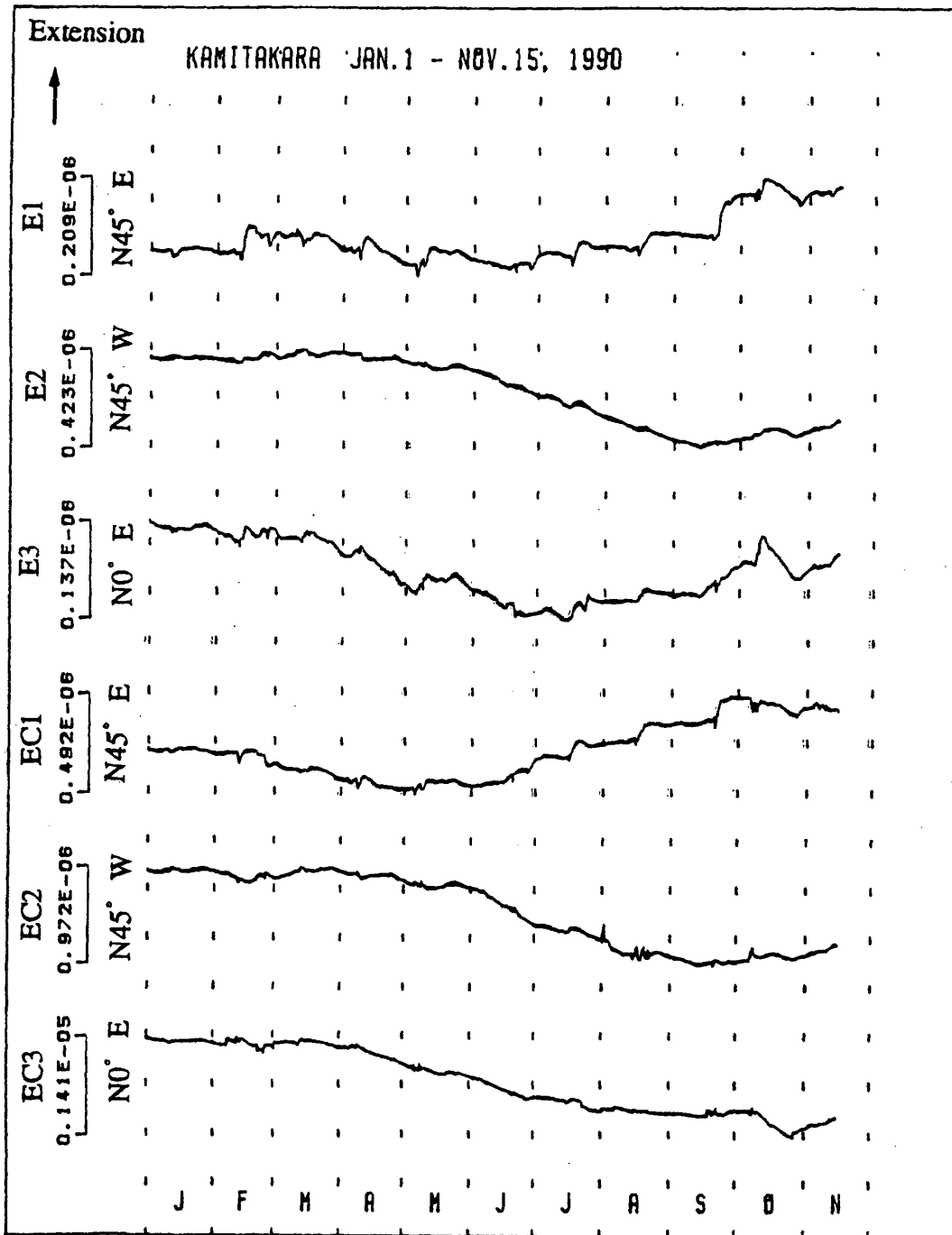
位置図



第1図 位置図

Fig. 1 Distribution of observation stations

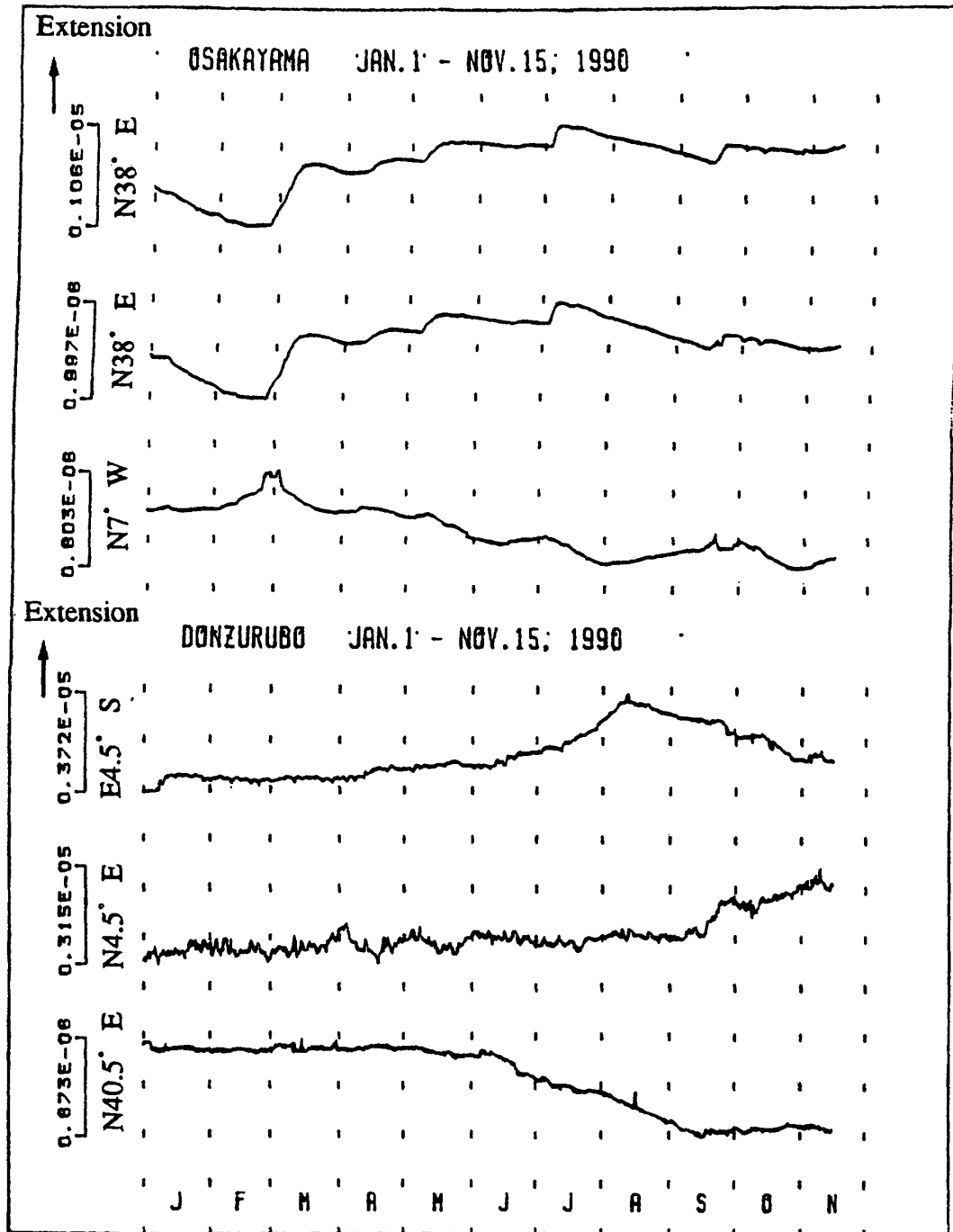
上宝におけるひずみ変化



第2図 上宝におけるひずみ変化

Fig. 2 Strain changes at Kamitakara.

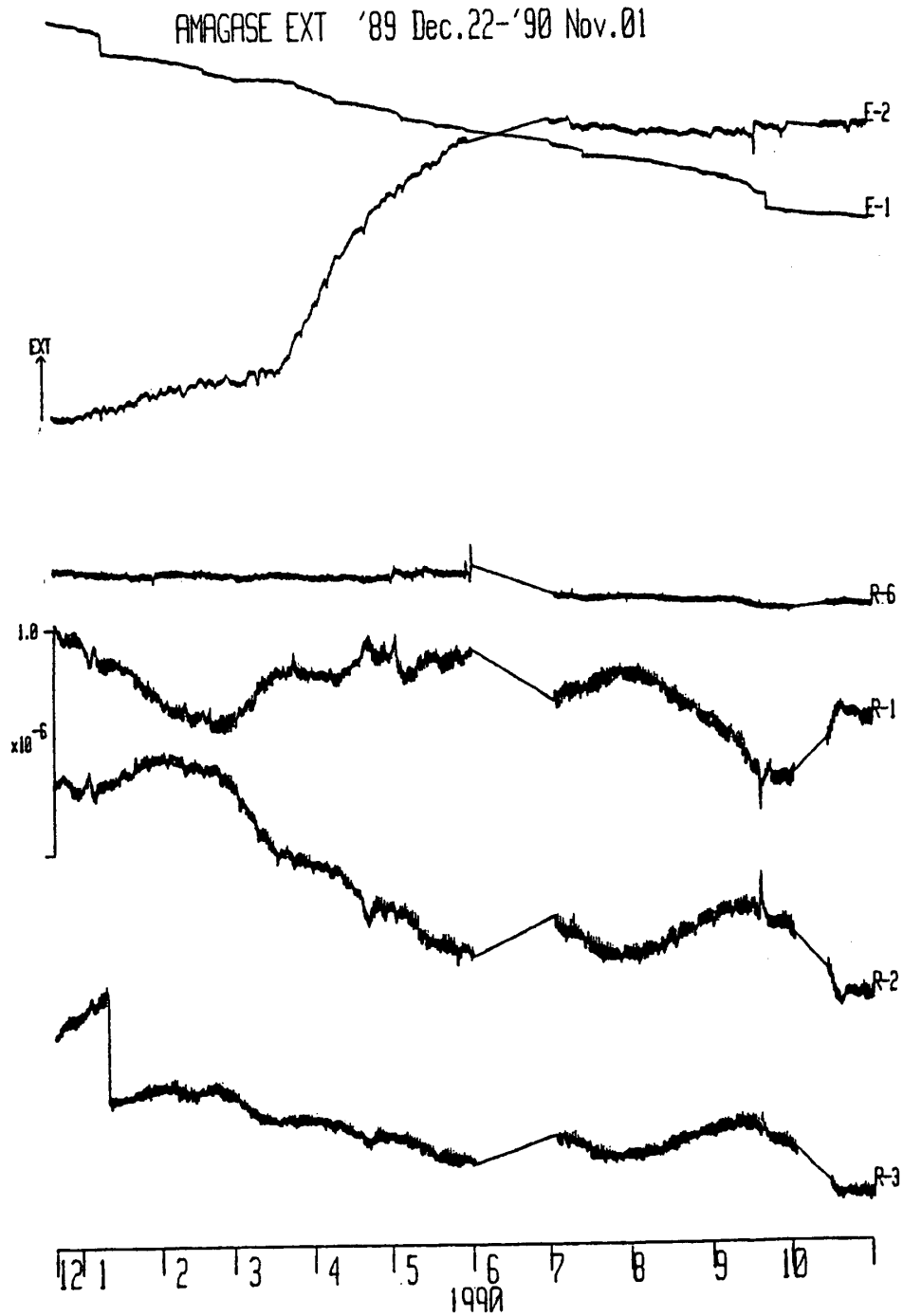
逢坂山におけるひずみ変化
 屯鶴峯におけるひずみ変化



第3図 逢坂山におけるひずみ変化，屯鶴峰におけるひずみ変化

Fig. 3 Strain changes at Osakayama and Donzurubo.

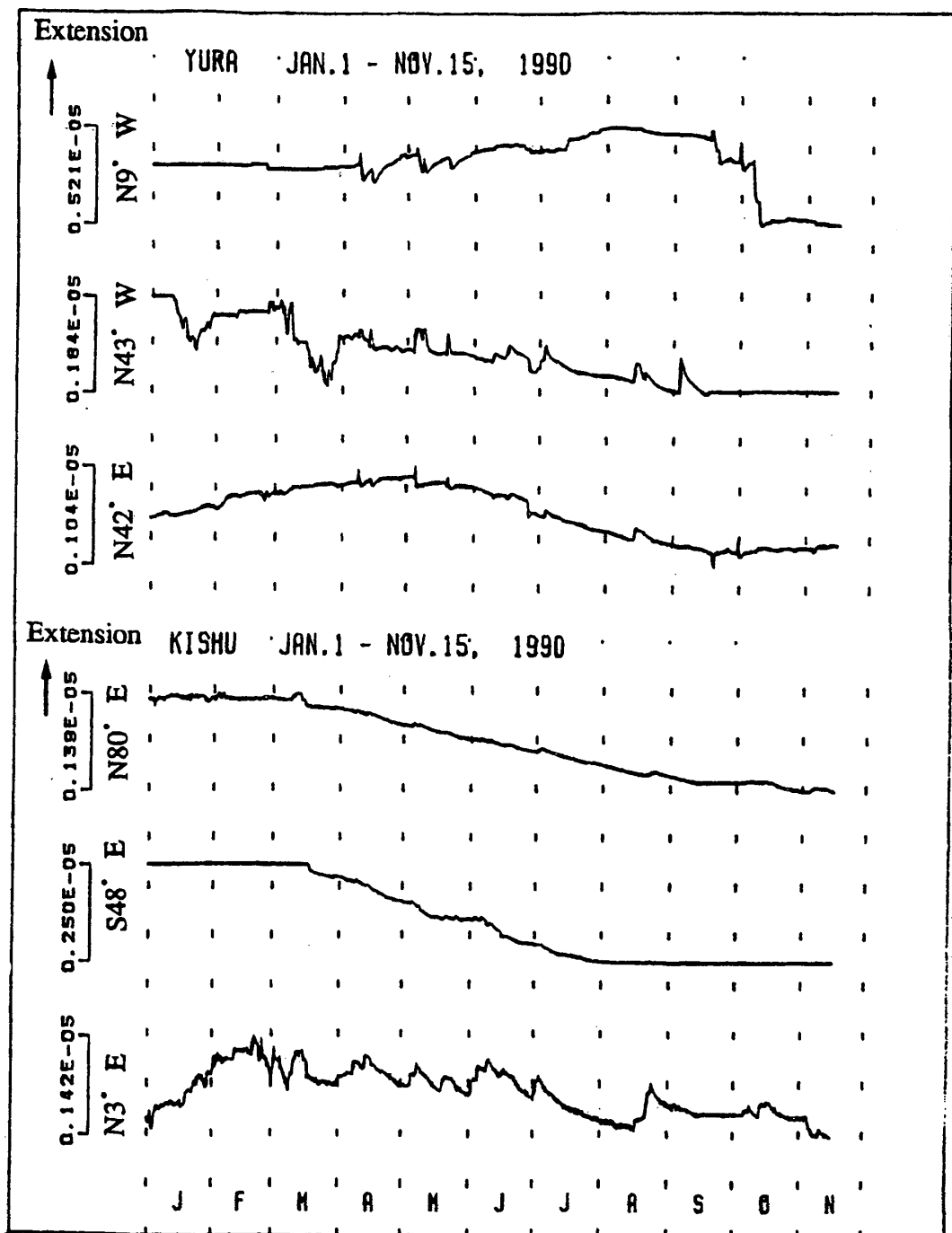
天ヶ瀬におけるひずみ変化



第4図 天ヶ瀬におけるひずみ変化

Fig. 4 Strain changes at Amagase.

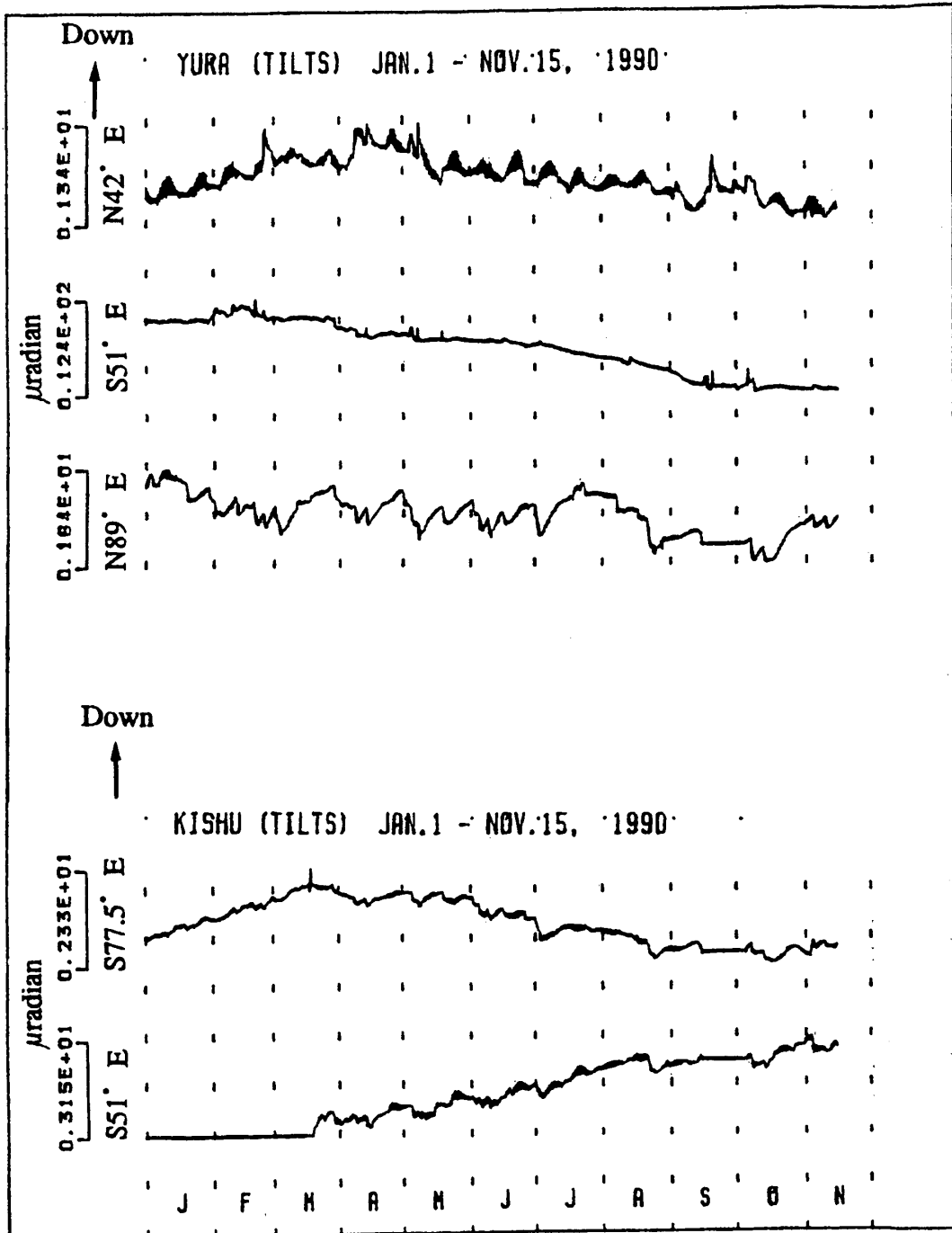
由良におけるひずみ変化
紀州におけるひずみ変化



第5図 由良におけるひずみ変化，紀州におけるひずみ変化

Fig. 5 Strain changes at Yura and Kishu.

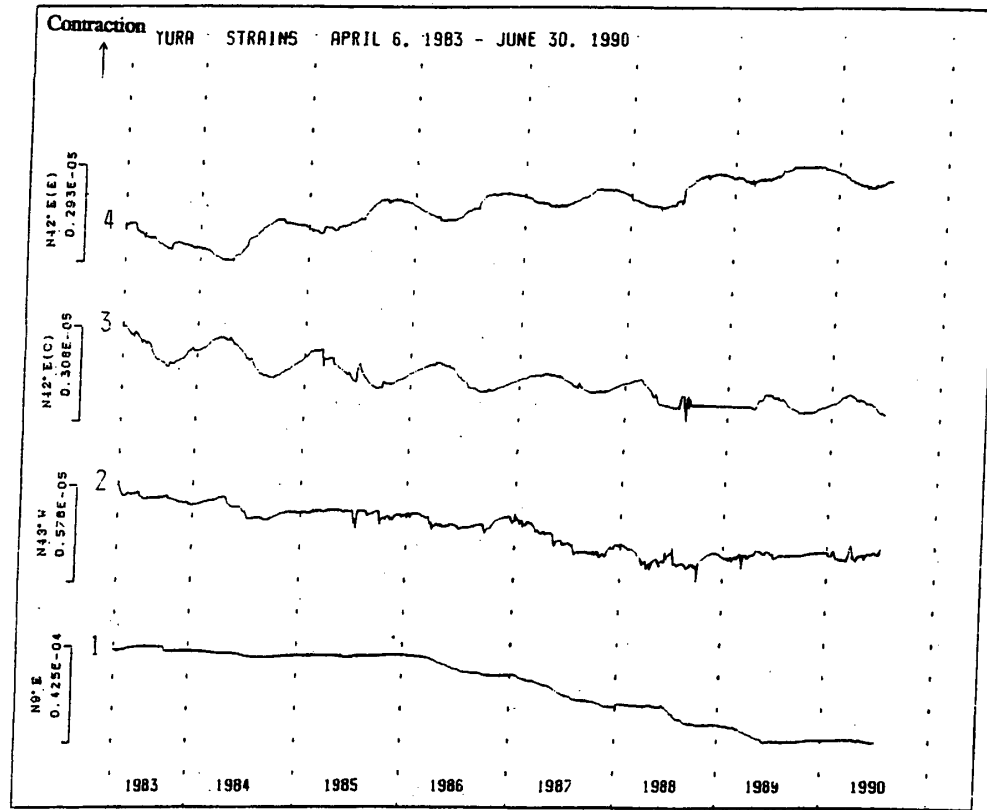
由良における傾斜変化
紀州における傾斜変化



第6図 由良における傾斜変化，紀州における傾斜変化

Fig. 6 Tilt changes at Yura and Kishu.

由良におけるひずみ変化, および紀州と
由良における傾斜変化
(1983年4月~1990年6月)



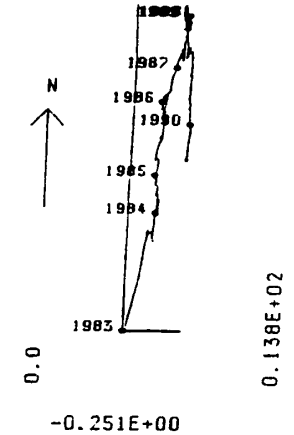
(注)チャンネル3は上向きが縮みである。

APRIL 6, 1983 - JUNE 30, 1990

TILT (WATER-TUBES)

0.789E+02 μ rad.

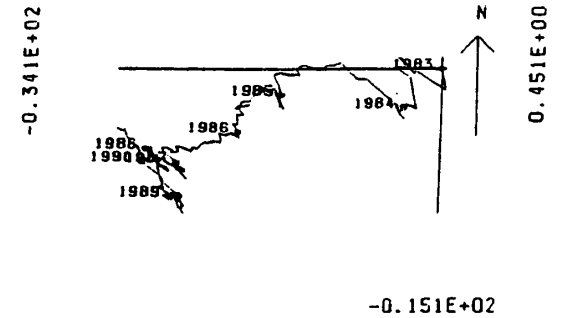
KISHU



TILTS (WATER-TUBES)

YURA

0.127E+01 μ rad.



第7図 由良におけるみずみ変化, および紀州と由良における傾斜変化
(1983年4月~1990年6月)

Fig. 7 Strain changes at Yura, tilt changes at Kishu and Yura (April 1983 - June 1990).